

'18のべおか

第九

のべおか第九だより (第575号)

2018年12月2日 (日)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <https://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
○ A (237~330小節) p.9~18	◆ ソプラノ	33人	20人	60.6%	69.0点
○ B (411~654小節) p.21~35	♥ アルト	33人	24人	72.7%	79.3点
○ C (655~762小節) p.35~47	♣ テノール	16人	12人	75.0%	72.3点
○ D (795~920小節) p.50~63	♠ バス	24人	16人	66.7%	67.0点
12月15日まであと13日	● 合計	106人	72人	67.9%	72.2点

♪pを歌うときは気持ちはf。f歌うときは気持ちは楽に。



@ 「第九」 11月22日の指導

その付近の注意 ●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意 ○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

…… 複数回の注意

★ お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 238 【Freu-de!~】 たいてい2回目(240小節)のほうが良いんですね!? だから1回目からfで。
……ドイツ語の発音としては“フロイデ”なんですけども、同じ音で“フロイ_デ”で“…デ”が強いわけではないんですけども、“フロイデ”ってやっちゃうと正確な位置に“…デ”が来ない!? (拍に)正確に“フロイデ”。当然子音はうんと前に出してください。(母音の“お”“え”が拍)
- 260 【streng ge-teilt; al-】 “streng”の“…e…”が拍に入る。だから子音は思いっきり前。
……“al--le Men-schen”のところで“a…”を“ア…”とぶつけないで“アーツレ メンシェン…”。
- 262 【wer-den Brü-der,】 大事な単語の子音は全部前です。“Brü-der,”これも“…ü…”が拍の頭にある。“Freu-de!”も。大切な単語ほど子音が前が出る。



- 285 【wer auch nur】 ちょっと“Ja,”だけ伸ばしてみてください…“Ja,”はぶつけちゃうとダメなんです。(ソプラノ)“ミー”、(アルト)“ラー”、(テノール)“ドー”この音を狙って出してください。
……(ソプラノ)誰か“イヤー…”って言うてる人がいる!? ミの音で“アー”って言うてみて…できるだけその状態に早くなるように。いいですか4分音符1個しかない。

……(アルト)“Ja,”マトが広すぎる!? もうちょっとマトを絞ってラの音。だから“イヤー…”じゃないですよ。“ヤー”。テノールとバス、“ド、ラ”で出してください。この状態を狙う。はつらつとした感じは全体欲しいんだけど、ハーモニーはちゃんと。

……ここは本番のホールですよ。だったら長さも決められる。“Ja,”に“,”がある。これもし喋ったとしたら“ヤーヴェるアオほヌる”じゃなくて、“ヤー、ヴェるアオほヌる”ですよ。ぶつけて“ヤー”と言うんじゃなくて“ヤー、ヴェるアオほヌる”。そう、冷静に。

- ♥ 289 【_ wer's nie ge-~】 “nie ge-konnt, der steh-le”の“steh-le”なんていうのも、もっと厳しくなくては。
- ♥ 290 【konnt, der steh-le~】 “steh-le”はちゃんとと言わないと。“wei-nend”の子音のスピード上げないといけないんだけど、(そこに)早く飛び込まないように。
- 290 【konnt, der steh-le】 dim.してきたときに発音のスピードがのろくなってきている!?
- 291 【wei-nend sich aus】 “wei-nend”その言葉だけとらえてセンチメンタルにならないように。“泣きながらここから去れ”と言ってるわけですから、非常に厳しこと言ってるんですね。最後までリズムがあるんです。
- ♡ 292 【die-sem Bund.】 最後、やっぱり発音が遅れている。口見ても“ヴァイネン…”!?
- ♥ 292 【die-sem Bund.~】 ……(285小節から歌って)? 発音を速くしたらテンポが速くなっちゃう!? ということはということかと言うと、(これまでは)発音が遅かったということです。
- 292 【die-sem Bund.~】 案外これ難しいのは、ドイツ語みたいにイントネーションがはっきりしている言葉で歌うときに、同じ音を歌うなんていうことは結構難しいことだと思ってください。だからみな

さんが思ってらっしゃることと逆です。それで“Ja, wer auch nur ei-ne See-le…”少し弾みがほしい。跳ねてください。

- ◆ 313 【Küs-se gab sie〜】 (326まで歌って)ちゃんと歌えているんですけど、それでは1拍子ですね!? 西洋音楽のセオリー、フレーズが“1,1,2”、“2,2,4”それを当てはめて。一番大事なことはここで8分音符が出ていること。ということはどういうことかと言うと4分音符で歌っているときより気持ちが前に。ポンポンポン…鞠をつくように。
- ♣ 313 【Küs-se gab sie〜】 (女性パートが歌って指導の後テノールの番)ちゃんと歌えてはいるんだけど、さっき僕がソプラノに注文したことです(気持ちが前に)、“gab sie”“Re-ben,”に向かっていってください。
- ♠ 313 【Küs-se gab sie〜】 (女性パートが歌って指導の後バスの番)同じ音を歌うときは弾んでくださいと言いましたよね。他のパートに言ってるのを漫然と聞いているのではなくて、当てはめてください。
- ♠ 316 【prüft im Tod; Wol〜】 “Wol-lust ward dem Wurm ge-ge-ben,”の“Wol…”、もちろん下のラは低いから聞こえにくいのはわかるけど、レの音はもっと出るはずだねえ。あきらめないで一つ一つの音を。そしてオクターブ上がる“Che-rub”(319)、これも欲しい。……何回でも言うけど、同じ音は簡単じゃない。同じ音で発音を変えて歌うことは、とっても難しいことだと思いますね。そのときは非常に発音のほうにウェイト置いてください。音を歌うと言うより発音を出す。……“Wol-lust ward dem Wurm ge-ge-ben,”と歌うにつれてしぼんでいかないように。“Wurm”までしっかり言って。



♠ 317 【-lust ward dem】 発音が間に合っていないな。“ward”

♥ 318 【Wurm ge-ge-ben,〜】 “ge-ge-ben,”が“Che-rub”より大きくなっている!? 本当に強くほしいのは(sfの付いている次の小節の)“Che-rub”。

♠ 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “Wurm”も速く発音。

○ 321 【und der】 “u…”もできるだけぶつけないように。

♣ 324 【Gott,】 叫ばない。

○ 324 【Gott,】 アルトはこの“steht_”に気持ちがいっちゃって“Gott,”(326)のラの音が言えない場合が多い。今は良かった。まずこの“Gott,”の二長調のハーモニーが鳴ってから次に行きましょう。まずこの集合しましょう。

♥ 325 【_ vor〜】 “vor Gott, … vor Gott,”、同じ“…o…”の母音なんだけど、同じ音で。“↑ vor ↓ Gott”ではなくて“→vor →Gott”。前に。高すぎてもダメだけど、同じ音。……“レーシ?ードー”って、今違う音したでしょ。

♣ 325 【steht vor〜】 “steht → vor ↑ Gott,”ってなっている!? これ同じ音“シ、ミ、ミー”って。

♠ 325 【steht vor〜】 “steht → vor ↓ Gott,”だ!? もうちょっと“Gott,”という単語を高くするのではなくてテンションを上げてください。誰の前なんですか? 神の前ですよ。

◇ 326 【Gott,】 叫ばない、叫ばない。ソプラノちょっと叫んでいる!?

○ 326 【Gott.】 長あーいです。これまで歌ってきたことの最後ということですよ。

♥ 330 【Gott.~】 アルトがもうちょっと欲しいです。ソプラノを支える気持ちがないといけない。もうちょっとテンションを上げたほうがいい。力を入れるんじゃなくて「神の前、神の前、神の前」それを強調するように曲ができています。その気分で歌う。

……もっと前へ!! …今、悪くない。でも“ゴ…”って(ぶつけて)言わないで。でも今のテンションで。忘れないで。

……やっぱりアルトがねえ、みんなで一緒にやると全部ぶら下がる!?

★ 330 【お話し】 いや、これが指揮者の仕事なんです。たとえば音が下がったからといって帰りませんが、それ言うのが指摘するのが僕の仕事なんで怒らないで聞いてください。僕にはどうすることもできない。一人一人が今日までの練習と今日のここでの練習とを自分のものにしてほしいんです。さっきパート別ではできたのに、みんなでやると出来ないのは何か原因がそちらにあるから。そんなに悪いことではないけど、でももし皆の意識がもうちょっと高くなったらもっと良くなる。それはアルトだけじゃないです。皆さんがそう思ってください。

……(通して歌って)ほら! さっきより全然違う。忘れないで。皆さんには出来るということがわかったから。いいですか? 今度会ったとき出来てなかったらそれは…サボってた(笑)。いいですか!



♣ 411 【Lau-fet,~】 テノール素晴らしいね。

○ 411 【Lau-fet.】 僕たちが喋っているいつもの“ラ”だけど、ドイツ語は舌が上顎に付いている時間がもうちょっとあって、それが離れるスピードがあって“ラオフェット”と。だから舌の準備をみんなが揃えて離す感じ。

……“ラオフェット”それは違う(笑)。でも今は準備が良かったね。面白いでしょ。でも一つできるわけ。そしたらさっきやった最初からその音を歌おう

という気持ちになる。最初の音に瞬時に付く。…今、いい音がしたね。いい音がするとポン! って響くでしょ。コレが欲しいんです。

♠ 415 【freu-dig.】 “freu-”の音がしっかり鳴っているように。“…eu-”の音ももっと鳴ってないと。…音が単調でしょ。音が単調だとテンションが低くなっちゃう。テノールが今、非常にテンションが高いです。それに比べてベースが今のだとちょっと足りない感じがするんですよね。テンションが足りない!? これは工夫しないと…何度も言います、何度も言いますが、歌うのはとっても難しい。それでテンションを出さなきゃいけないから…だからもうちょっとベースの人は歌い込んだ方がいいかな。

○ 415 【freu-dig.】 大事な単語の子音はどんなに前でもいい。(424,425,426小節とも)

○ 543 【Freu-de.】 みなさん(拍の頭で)“Fr…”って歌っている!? じゃなくて(拍の頭は)“…eu…”。

……そうそう。思い切って(“Fr…”)を前に。そしてさっき男性でやったでしょ。“…eu…”の母音がしっかり鳴ったことを確認して次。

……忘れないで!! さっきのほう全然いいんだ!? 道歩いてるときでもいいんだ、(拍の頭は“…eu…”というのを)日常にしておかないと。もう1回言いますよ。大事な単語の子音は前に出す。

○ 549 【ly-si-】 sfが付いた言葉、“E-ly--si-um,”、“feu-er-trun-ken,”(553)、“Hei-lig-tum!”(557)、“Brü-der”(570,586)、“Flü-gel weit;”(573)、今言った何箇所かの母音ももっと鳴ったらもっと素敵。

- 556 【sche, dein】 “Himm-li-sche, dein Hei-lig-tum!”の“…sche,”が長くなっちゃう。長くなっちゃうし強くなっちゃう!?
- 595 【Seid um-~】 テンポが変わっているんです。何当たり前のこと言ってるんだというかもしれないんだけど、ここの“Seid…”は前のテンポのアタックなんです。例えばこのぐらい(小さな)銅鑼を鳴らすのとおんな大きな口径の銅鑼を鳴らす時は…もうテイクバックが違う。ゆっくりのテンポになったら、もちろんプレスもそうだし、それも幾分吐いておいてから“Seid…”。
……これ女性の方(603)も。“ザイト…”ちゃんと“…d”を発音してから“um-schlin-gen,.”。“ザーアイトウム”じゃなくて。リエゾンしませんから。“ザイト…ウムシュルンゲン”。
……譜面持っていていいです。でもほとんど覚えてるでしょ。特にこういう始まりの時とかテンポが変わったときは必ずこっちを見て!! その入りだけではなくて1小節は見て!! テンポはそこで決まる。
- 595 【Seid um-】 ……これ女性の方(603)も。“ザイト…”ちゃんと“…d”を発音してから“um-schlin-gen,.”。“ザーアイトウム”じゃなくて。リエゾンしませんから。“ザイト…ウムシュルンゲン”。
- 596 【schlun-gen, Mil~】 “Mil-li-o-nen!”の“Mi…”をぶつけないで。“Mil-li-o-nen!”長ければ長いほど大きな声が…。



○ 602 【Welt!】 もうちょっと“Welt!”は長いです。女性が出てくるまで。“…It! Se…”。小説の最後で“…It!”。出来るだけ後ろで。

● 603 【Seid um-~】 ここから四声帯になったときのハーモニーをもうちょっと練習したい。そして男性は一つです。歌いすぎないように。逆に女性に溶け込むようなつもりで。そして609小節でffになる。

- 609 【gan--zen~】 男性は瞬間的にffになる。
- 612 【ü-ber'm】 “ü-ber'm”の“…e…”の母音が短い!? “イーベえるム”。
- 619 【Brü-der!】 ここはテンポをうんと正確に勘定してほしい。“Brü-der! ü-”ここまで。たいてい遅くなる!! 遅くなりすぎない。
- 626 【woh-nen.】 ここはスタッカート。“.”を打っておいてください。男性の場合だと618小節、スタッカートがありますよね。それと同じ長さにしてください。
- 631 【Ihr_ stürzt~】 今、言葉だけ…タイミング悪くないけど“… stürzt”、終わりの子音“…zt”。“シュティンツト”をちゃんと言うんだけど、どういうことかというとな“nie-der,”が大事なんです。“nie-der,”(ひざまづく)
- 635 【Ah-nest】 もちろん弱くppから始まるんですけど、フェードインじゃないです。出てきた瞬間にハーモニーがある。
……x後半歌って再び同じ指摘あり!!

○ 638 【Welt?】 ffは長いです。

○ 639 【Such' ihn】 これもフェードインじゃないです。出てきたときにちゃんとハーモニーが聞こえるように。

◇ 642 【zelt!】 ソプラノがちょっと弱くなってしまった。これは絶対に弱くならないようにしてください。fのまんまずーっと…切ったら何がある?? ffで“Ü-ber Ster-nen muß er Woh-nen,”

♡ 642 【zelt!】 ほら、弱くなってるとよ。“zelt!”って言うときに“ze…”と入ってるから。(弱くならないで)“zelt!”と。

♥ 646 【woh-nen,~】 “…-nen,”まで前に向かって。(x↓)。って凄い大変なんだけど、途中で息とっていいですよ。へたにとると音程が変わっちゃうかもしれないけど、本当に同じ音がずーっと聞こえているようにしたい。結局ここはアルトが肝なんです。(639小節の)“Such”から私たちアルトが芯になるパートだと思ってください。その意識を持ってください。

● 646 【woh-nen,~】 (全員で歌って)ほらね、アルトは今とってもいいです。今、何度か歌ったからということもあるんだけど、やっぱり今、アルトが一番素敵でした。その意識(アルトが肝)でそこに立ったということ。



♡ 655 【Seid_ um--】 いろんな“Seid_”があるね。このぐらいマトが広いよ!? 音。音です。“Seid_”と思わないで。

● 655 【~】 ここでアンケート。“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”と“Seid_ um--schlun-gen,”のどっちが大事? … “Seid_ um--schlun-gen,”が大事だと思う人?…それだけいるの!? “Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”が大事だと思う人?…それしかない!? そりゃそうなるわな、演奏が。今、ほ

とんど“Seid_ um--schlun-gen,”の人しか聴こえないんです。で、物理的に言ってですよ、“Seid_ um--schlun-gen,”って強力。簡単。そっちの方が出ちゃう。僕は大事なのは“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”。こっちのほうが全然大事だと思う。だからそれでいくと最初の女性のバランス、それからもっと厄介なのは671小節。(続きは671項目へ)

◇ 655 【Freu-de, schö-ner】 楽しそうに歌ってください(笑)。だって“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”と“いだき合え兄弟たちよ”と歌ってるんですよ。

● 671 【_um--~】 ここでテノールが全然聴こえない!! それはテノールのせいではなくて、ソプラノさんそこらへんが一番声が出しやすい声域なんですよ。だから大きくなる。そうするとテノールなんかは消し飛んじゃう!? だから僕は常に“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”のパートをフォローしますから。その人たちが常に歌ってください。常に歌ってほしい。

♥ 720 【Freu-de, schö-ner~】 “Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”という点でいくと、アルトにテーマが来るでしょ。この部分から最後を飾るようには聞こえないんだよね。アルトの人はそう思って歌ってないからね。「ベートーベンはこのテーマを最後に私たちのパートに歌わせてくれるんだ」という飲みを持って歌わないと。「あまた来た!?’なんて感じ!?(笑) ……(729小節まで歌って)結局これはどういうことですか? あまりにも嬉しくてまずオクターブ上がるでしょ。もっと嬉しくなるから(726)“Hei-----lig-tum!”。もう相お当おうれしいです。相お当お

テンション高くしてください。そこのテンションが高ければ高いほど次のバスの“Ihr stürzt …”が…。
こういうもの凄い明るいところからどん底の真っ暗なところへ行く。一番明るいところをアルトが持っている。

♡ 720 【Freu-de, schö-ner】 “Freu…”じゃなくて“Freu-de,”。母音に!

● 742 【Such' ihn〜】 ここからはもうちょっとcresc.が欲しいです。一個一個cresc.です。

● 745 【zelt! Brü〜】 “Brü-der!”ここはfなんだけど、要するにどういうことかということ、「兄弟たちよ」と呼びかけてるわけですよね。“such' ihn…天空のかなたに彼を探せ、兄弟たちよ”と。“兄弟”ではなく“兄弟たちよ”。例えば会場の皆さんであったりまたはあなた方同士が呼びかけてると思うんです。インパクトが欲しい。2回(748)言ってます。そのあと(749)はpにしてください。1拍しかないんですよ。

○ 749 【ü】 2回“Brü-der!”と言ったあとのここがpになってない!! インパクトが欲しいです。とっても綺麗なpにしてください。
……そこpだって!! pを歌うときは気持ちはf。f歌うときは気持ちは楽に。そうしないと“Brü-der! …??”になっちゃう。保つというか支える。声楽の先生方、そうでしょ。大事なことを言うときは怒鳴らないよ。小さい声で言うと皆んなが聞く。そういうつもり。凄く説得力のある“ü-ber'm”。この前の“Brü-der!”はぶつけないで。



● 795 【Dei-ne Zauber,〜】 ごめんなさい、ここの前にピアノをずーっと続けちゃわせて。でも実際の本番はそうです。長あくみんな待ってます。今どうだったかという、“Dei-ne…”って聞こえなかったんです。これはやっぱり準備が足りないから。だからそのためにわざわざずーっとやってみたんです。流しそうめんって知ってます?やったことある??(笑) 流しそうめんって流れてくるでしょ。目の前に来たときに箸を出したら…もうそうめんは?? 来る

こと見計らってこちらへんで準備してここで捕まえないといけない。音楽は動いているんですよ。だから皆さんが休んでいる…休んでいるというのは言葉悪いですよね…休んじゃダメです。皆さんが歌っていない時も音楽は動いている、その感覚をやしなって欲しいんです。来るぞ来るぞで捕まえないと。その感覚が弱いです。

……今のは出だしだけは合ってるんです。捕まえることはできたんだけど、捕まえた先がいけない。“Dei-ne Zauber, dei-ne Zauber, …”っていかないと。箸を出すだけではなくて捕まえたあとしっかり言ってみて。

……時間的に出だしは合ってる。あぁだけでももうこういう言い方するしかない…これってどういう場面だと思います? ソリストが4人で歌ってるんです。これがオペラだったらどうですか? 本来だったら合唱団は出てくるべきではないんです。だけどソリストが歌ってることがあまりにも自分たちの思ってることと合ってるので、「その通りだ!」と気持ちがはやって“Dei-ne Zauber, …”と出てくるわけです。もっとせき込んで欲しいんです。例えばここでちょっと弱く出してくれとか僕も多分言うし、だけど弱くといっても後ろ向きの“Dei-ne Zauber, …”ではない。前向きに“Dei-ne Zauber, …”もっともっと積極的に欲しい。

○ 795 【Dei-ne Zauber,】 “D”が聞こえない!? “D”に対する意識が弱い。もっとここは喋って。……でもミの音は言って!! それでもうちょっと密やかに。遠巻きにされていて“Dei-ne …”発音のスピードはそのまま



○ 810 【Men-schen wer-den】 “-schen”はp。相当勢いがついてるから、そこが強い!? “-schen”でpになって“wer-den”でcresc.して。“wer-den”はピアノ譜右手に、espress.。だから歌もエスプレシーボなんです。「すべての人が兄弟になる」というところはエスプレシーボ。……ここは必ず僕のことを見てないとダメ!! 今も半数以上の人が譜面を見てる!?

○ 811 【Brü-der, wo dein】 “Brü-der,”の次にもう一回p。“wo-dein”。おまけにdolce。優しく。espress.、dolceが歌い分けられたら凄く素敵なんです。どうやったら出来るかという、“Brü-der,”ここのプレスでdolceのプレス。

● 827 【Al-le~】 “-le”が合っていない!? そしたらこういうことをやってみてください。イチ“Al-le Men-schen, al-le Men--schen, al-le Men--schen,”。そこが1泊前に出るだけなんです。ア“Al-le Men-schen, al-le Men--schen, al-le Men--schen,”ってできる?? …ほら、合ったでしょ!! もうひとつの考え方は“Al-le ↓ Men--schen, al-le ↓ Men--schen, al-le ↓ Men--schen,”ではなくて“Al-le → Men--schen, al-le → Men--schen, al-le → Men--schen,”。これを全員で合わせる。

……先に言ってる人がいる?? ダウンビートは強拍は“Men-schen”なんです。もちろんこれは議論があるところですよ。“全ての人たちが”なのか“全ての人たちが”なのかという話ですよ。僕に言わせれば両方大事で。結局譜面を見ると強拍であるダウンビートに“Men-schen”だから“al-le”はアウフタクトなんです。…そうそう。結構(発音)時間あるでしょ。速くないですよ。みんなはたぶん間に合わせなきゃいけないと思ってる、たぶん食いつきがうまく出来たとしてもその後が速くなっちゃってたら意味がない。いいですか、ここも練習しておいてください。

○ 832 【Men-schen!】 最後はテンポで(伸ばさない)。前のテンポで言い切ってください。

……皆さんが歌ってない、ソリストが“Al-le Men-schen!”って歌ってるところで皆さんもどっかで“Al-le Men-schen!”って歌って続けて歌うとできる。(“Men-schen!”はインテンポで伸ばさない。)

……(再度歌って)違う!!! インテンポ!! さっき出来たのに!? “al-le”も遅くしない。要するにそれしか書きようになかったんですよ。そこが合唱で“al-le Men-schen!”で遅い?? 合唱はインテンポで終わったら美しいソプラノが…という具合。僕はそう思っています。これは練習しておいてください。

……(最後の920小節“fun-ken!”と同様に)“Men-schen!”をインテンポで、ここの前のテンポで。



● 855 【Seid um-schlungen,~】 速いです。→“Seid um-schlungen,”→“Mil-li-o-nen!”→“Diesen Kuß der gan-zen Welt!”、どんどん先に。

……そうそう。それぐらいで言わないと間に合わない。常に動いて。僕たちってどうしても農耕民族なんで鍬を振り下ろすような歌いかたになりがち!? 流れみたいなもの、弾みとか、そういうものがどうしても(お酒飲んだときのよな)手拍子(笑)!? 皆さんが笑うという

ことは(今の歌いかたが)そうだということなんです。それをもちろんハンディでも何でもないけど西洋音楽やるときはもしかしてハンディかもしれない。それを自覚するところから始まるんじゃないかなと思う。みんなは「第九」を100回以上歌ってるかもしれないけど、基本的なことはソコ。もっと言うなら→“Seid um-schlungen,”→“Mil-li-o-nen!”→“Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”…(859~)“der gan-zen We-----lt!”ここまでいかなきゃ!!

- 860 【gan-zen Welt!_~】 “We-----lt!”は体(を動かして)数えないで!! まだ今はマシですけども、さっき通したときは(笑)。
- 915 【Toch~】 “Toch--ter aus”までは大きいでしょ。“E-ly-si-um!”でpなんです。どういう意味?“E-ly-si-um!”、“天国”“樂園”だよね。“Toch--ter aus E-ly-si-um!”は何のこと?“Freude”でしょ。“樂園から来た乙女”というのは“Freude”なんです。“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,”と最初に言ってる。ということはここで言いたいのは“Toch--ter aus E-ly-si-um!”というのが“Freude”の正体というか、その一番大事な“E-ly-si-um!”というのをpで言ってる。これが一番印象に残る。“↓E-ly-si-um!”ではなくて前“→E-ly-si-um!”に。それが美しければ美しいほどこの次の“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-fun-ken!”これが際立つ。……“T…”が遅れている!? 休まない、休まない。お休みが書いてあるところも音楽が動いている。そうめんは流れている。そういう意味で休んじゃダメなんです。
- 916 【-ter aus E-】 いやいや、それはしょうがないことなのかもしれないんだけど、ここまでテンション高く歌ってきたらpがそうなるのはしょうがないのかもしれないけど、もう一回言わせてください。pは気持ちは強く。ここが一番強いと思って。芯がもっと自分の中にある。……“E-ly-si-um!”を合わせようと思ったらその前の“aus”の子音を合わせる。“-ter”で息とっていいです。でも今ね、“…s”を言ってない人がいる!? 実際そっこのほうが合わせるのが難しいです。この息と子音を合わせよう。
- 920 【fun-ken!】 “fun-ken!”僕(の指揮)より速い!? ……まだ速い!? “Göt-ter-fun-ken!”は“Göt-ter-↓fun-ken!”ではなく“Göt-ter-→fun-ken!”。やっぱり決めていきたい。しっかり言って終わりたい。“-ken!”の下の音も響いていなくてはいけない。
- ★ 920 【お話し】 本当に短い時間でしたが、素晴らしいと思います。アルトもとっても良くなりましたし、もちろん男性も素晴らしい。ソプラノの皆さんも。このテンションで過ごしてください(笑)。15日か。それまでお元気で…(拍手)

◆とまどいいつも必死でついていく!でも楽しい!!(京)

◆勉強のいきぬぎに少しはなりま
す。(ハンバーグは主食)

です。エネルギーでやさしく
楽しい先生で安心しました。



◆山下先生にパワーいただいた気分です。当日が楽しみ!! 楽しい練習でした。(MMM)

◆指導者の先生の熱心なご指導でスポーツしたかのような心地よい疲れを感じました。当日が楽しみ

◆98年にご指導
いただきました。
頑張ります。山
下先生最
高!!(H.K.)
◆あせらず冷静
に歌えるよう、
がんばりたいで
す。

◆20年前入団した時が山下先生の
指揮でした。今年再会できて良かった
です。(バーバママ)

◆いよいよ本番まで1ヶ月を切り
ました。チケットをおすすめして
も帰りが夜道でこわいからと断ら
れます。来年のためにも根気よく
チラシを配っています。

◆本番が楽しみです。

◆山下先生、ただただ素晴らしい
熱のあるご指導ありがとうございます

ました。もっと時間があってらっ
て思うくらいでした。

◆指揮者の先生の熱い指導で、新
しい発見がたくさんありました!
家でも練習がんばります。

◆山下先生のエネルギッシュな指
導で心豊かになりました。

◆寒くなりました。かぜをひかな
い様に気をつけたいと思います。

♥あついご指導で楽しかった。山
下第九を成功させましょう!

♥非常に楽しかった。勉強になり
ました。

♥山下先生のご指導、すばらしい。
楽しく歌えました。ありがとうござ
います。

♥初めて延岡会場に来ました。楽
しみにしてます。がんばります。

♥山下先生、ありがとうございます
ました。本番!! ガンバリます!

♥先生の指導は大変わかりやすく
良かったです。

♥思いっきり声が出せました。勉
強になりました。

♥山下先生のご指導はとても元気
が出て歌いやすかった。前回お会
いしていたので、とてもなつかし
かった。(ヨッチン)

♥20年ぶりの先生の指揮で若返っ
た感動した!! 指導者の方々、お世
話くださる皆様に感謝です。咳止
めを飲んで本番に臨みます。(うた
むし)

♥去年は指揮者
指導に出席でき
なかつたので、
今年は受けられ
て良かったです。
だいぶ歌えるよ
うになったと思
っていましたが、
まだまだダメで
した。次回から
調整していきます。

♥平日だったから疲れたけど、楽
しかったです。

♥息もつかせないほどの山下先生
のご指導、もう山下マジックにか
かった気がしま
した。(leoのマ
マ)

♥とてもアツイ
ご指導にカンゲ
キ!!! ありがとう
ございます。こ
のテンションを
本番までkeepして頑張ります。

♣このときから、この日から、の
べおか第九はわかります。この中
からソリストを出します。そして
ブロードウェイ、カーネギーホ
ール、オペラ座、ウィーン国立劇場
へと送り込みます。戻ってきたら
歌ってもらいます。約束です。遠
慮しないで今すぐ出ておいでな
さい。私たちは、世界はあなたたち

を今か今かと待ちわびているので
す。求めよ叩けよさらば与えられ
ん! 私たちはこれからみんなでイ
タリアオペラ座を目指します。イ
タリアへ行きます。連れて行きま
す。本気です。あと残すはすべて
ひとりひとりの諸君のご一存につ
きます。そうなんです。もう決め
ましたから。



♣不思議と声が出るようになって
きました。指揮者の力ってすご
いですね。

♣山下先生、素晴らしい指導を
ありがとうございました。(T.Kawa)

♣指揮練でテンション上がりました!

♣今年で参加5回目です。今年こそ
完璧に歌えるように全力で頑張り
ます。山下先生は最高でした。新
たな気づきがたくさんありました。

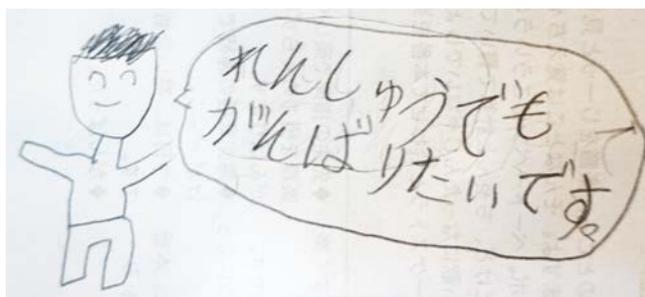
♣山下先生の指揮で別の合唱団に
なっていますよー! したいです
よ!!(KC)

♣山下さんは情熱的でステキで
した。

♠人数が少なく心配です。一人で
二人分の声を、一人で二人分の情
熱を届けましょう。

♠頑張ります!

♠山下先生の指導のもと、自分も
歌えているなと感じた。(H.K)



♥いつも同じには歌わないが、今
年も新しい歌い方でまた楽しさも
増えたようだ! 忘れないようにし
ないとネ!

♥今日、山下先生の指導で時々
チェックポイントがありましたが、
とても歌いやすかったです。これ
で本番に向かって行けます。あり
がありがとうございます。

●編集後記

次回は**12月9日(日)**18:30~21:00

前回の先生のご指導を文字おこしましたが、とても詳しい指導。久々に2日かかりました。曲もこれまで私たちの歌っていたものと違う解釈もあって、その習慣が身に沁み付いてる人は修正が必須です。この日の練習に参加できていないメンバーにもしっかり伝えて覚えてもらわないと…。【munenori@horita.jp】